

令和6年度 認定こども園すみれ萑崎保育園 園の評価

評価基準

a・・・十分できている

b・・・できているが十分ではない

c・・・あまりできていない

d・・・ほとんどできていない 改善を要する

	評価項目	総合評価	個人の意見・改善点
保育の理念・基本方針	園の保育理念や保育目標をしっかりと理解できていますか。	b	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の保育でいっぱいになってしまい、保育理念や保育目標を思い出したり、それを踏まえての保育を常にしたりすることは難しかった。 ・子どもの気持ちを大切にしながら、保育していきたい。
	子どもの人権に十分配慮するとともに、互いに尊重する心を育てるように配慮していますか。	b	
保育の内容(健康)	子どもの発育や状態、家庭での食事、睡眠などの状態について保護者から情報を得るようにしていますか。	b	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが泣いてしまうタイミングが重なると、関わりきれず我慢させてしまうことがあった。欲求を満たせるよう予測して関わりたい。 ・子どもたちの「やりたい!」という意見を大切にし、どうすれば実現できるか一緒に考えていきたい。 ・自分でするという気持ちや、できることを増やしていけるように、保育教諭が援助しすぎないように心掛けた。しかし、援助の仕方・関わり方を職員間で共有することが難しかった。それぞれの保育観は違うが、話し合う場を設け気持ちの共有をしたい。
	登園時、子どもの健康観察(機嫌、顔色など)を行っていますか。	a	
	保育中、子どもの様子(機嫌、食欲など)の把握をしていますか。	a	
	一人ひとりの生理的欲求(食欲や睡眠)が満たされるよう配慮していますか。	a	
	子どもが伸び伸びとからだを動かせるよう、時間、場所、遊びを確保していますか。	a	
	外遊びや散歩など、戸外で遊ぶ機会を多く取り入れていますか。	a	
	生活面において、子どもが自分でできることは自分でしようとする意欲や姿勢を十分に見守っていますか。	a	
保育の内容(環境)	一人ひとりの子どもが伸び伸びと遊べるよう見守っていますか。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びや環境づくりの工夫が足りなかった。ひとりで考えず、みんなでアイデアを出し合い、苦手な部分を補い合って保育したい。 ・子どもが自主的に遊べるような、コーナー作りをしたい。子どもの声を聞きながら、遊びを発展させていきたい。
	いろいろな遊びの中で、全身を使って体を動かすことができるよう配慮していますか。	b	
	戸外でのいろいろな遊びを意欲的に楽しむことができる機会を設けていますか。	b	

保育の内容(環境)	子どもが全身を介して直接自然と触れ合う体験をする機会を設けていますか。	b	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな遊びを楽しめるようにすることで、集中して遊んだが、物の扱い方が雑だったり、物を大切に使ったり、片付けをどうするかなど、もっと子どもたちと確認して使いたい。基本的なことを身につけられるように考えたい。
	子どもがいろいろな物に触れながらその性質や仕組みに興味を持てるよう配慮していますか。	b	
	子どもの発達に適した玩具や遊具を用意し、好きな遊びができるようにしていますか。	b	
保育の内容(人間関係)	園生活の中で、子どもが充実感を味わえるような体験を取り入れていますか。	b	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢に応じて、子ども同士で考えて解決できるように、考えながら援助することを心掛けたい。 ・遊びや活動がマンネリ化しないように、「子どもと一緒に」活動を考えたい。 ・子どものつまずきやケンカなどのトラブルを恐れず、子どもたちの声を聞き、一緒に解決方法を考えるようにしたい。 ・芋ほりをしてやきいも、稲刈りをしておにぎり作りなど、食につながる体験をすることで充実感が増すと思う。次年度も取り入れたい。 ・teams の活用により、他クラスの様子、子どもの頑張っている姿、楽しんでいる姿を共有できるようになり、全園児に声を掛けられるようになった。担当クラスだけでなく、全園児の成長を楽しみに思っている。
	子どもが保育教諭や友だちと共に過ごすことを楽しめるような配慮をしていますか。	b	
	保育教諭の言動の一つ一つを子どもはモデルとして学んでいることを知っていますか。	a	
	つまずきや葛藤、けんかなどの経験が成長に欠かせないものにとらえ適切に対応していますか。	b	
	子どもが思ったことを友だちに伝え、相手の思っていることにも気づくように援助していますか。	b	
保育の内容(言葉)	子どもの発達や理解力に合わせた言葉を使うよう心がけていますか。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・これからも、子どもの目線で気持ちに寄り添うような保育をしていきたい。 ・前に出て話す際に、子どもの興味をひきつける話し方ができない時があった。話し方に抑揚をつけるなど、工夫したい。 ・絵本を通して伝統を伝えたり、想像力を育んだりできるように、いろいろな絵
	子どもの表情や姿をよく観察し、その場に適した言葉がけをするよう心がけていますか。	b	
	子どもの気持ちに寄り添いながら疑問や質問に答えたり、一緒に考えるよう心がけていますか。	a	

保育の内容(言葉)	正しい言葉づかいや声の大きさに配慮していますか。	b	<p>本や季節に合った絵本を楽しんでいきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな声を出したり、強く言ってしまったりする時があった。適切な声の大きさ、言葉を使うようにしたい。 ・子どもの小さな質問にも「なぜだろう」と耳を傾け、子どもと一緒に考えることを楽しみたい。
	子どもが見たり考えたりしたことを自分なりに言葉で表現しようとするよう援助していますか。	b	
	絵本の読み聞かせなどを通して、言葉への興味や関心を育てるよう心がけていますか。	a	
保育の内容(表現)	子どもが歌ったりリズムに合わせて体を動かしたりして、表現の楽しさに気付くよう配慮していますか。	b	<ul style="list-style-type: none"> ・戸外遊びが多くなってしまったが、制作活動を更に取り入れ、五感を通じて様々な経験ができるようにしたい。 ・いろいろな素材を使って制作活動をしたり、遊びに取り入れたりすることができた。様々な素材について調べたり、試したり、今後も工夫したい。 ・クッキングなどの食育を通して、感受性や表現力を養えると思う。これからも保育と連携して食育活動を行ってほしいと思う。
	子どもの表現を受け止め、共感し、表現することの楽しさを味わえるよう配慮していますか。	a	
	様々な音、色、形、手触り、動き、香りに気付いたり、心地よさを感じる機会を作っていますか。	b	
	水、砂、土、紙など自然の素材に触れて楽しむ機会を取り入れるよう心がけていますか。	b	
	感じたことや考えたことを自由に表現できる機会を設けていますか。	b	
保育の内容(乳児保育)	一人ひとりの乳児の発育や発達の状態をよく観察したうえで、常に体の状態を細かく観察していますか。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・月齢に差があり、個人差もあったため、発育や発達の様子に配慮した。午睡時の体勢についても意識し、安全に過ごせるようにした。 ・給食室からも、teamsなどで食事の様子保護者に伝えていきたい。
	たて抱き、腹這いなど子どもが様々な姿勢をとれるようにしていますか。	a	
	乳児を寝かせる場合には安全に配慮し、呼吸と体位のチェックを行い、記録をしていますか。	a	
	外気に触れたり戸外遊びを行う機会を設けていますか。	a	

	離乳食については、家庭と連携を取りながら一人ひとりの子どもの状況に配慮して行っていますか。	a	
保育の内容(1・2歳児)	基本的な生活習慣の習得については、一人ひとりの子どもの発達過程に応じて行っていますか。	b	<ul style="list-style-type: none"> ・時間に追われると、気づかないうちに子どもが自分で出来ることでも、保育教諭がやってしまうことがあった。心に余裕をもち、落ち着いた気持ちで子どもと関わりたい。 ・時間に追われすぎず、ゆったりとした気持ちで丁寧に関わることで、子どものできることを増やしたい。また、出来たという達成感につながるような関わりに努めたい。 ・未満児クラスの子とも積極的に関わり、信頼関係を深めたい。
	子どもの意欲や自分でやりたいという気持ちを尊重しながら、適切な援助を行っていますか。	b	
	衣服の着脱にあたって、丁寧にやり方を教え、自分でしようとする気持ちを尊重していますか。	b	
	ゆったりとした気持ちで自分から便器に座ったり排泄したりできるよう配慮していますか。	b	
	楽しい雰囲気の中で自分で食事しようとする気持ちを大切にしていますか。	a	
保育の内容(3歳以上児)	生活に必要な習慣や態度を身につけ、適切な行動を選択できるよう配慮していますか。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが自ら考えたり、何故どうしてと疑問に思ったりできるような働きかけを続けたい。 ・決まりやルールを繰り返し知らせたが、自分たちで考え、気づいて行動できるような関わりができなかった。言葉のかけ方をもっと工夫し関わりたい。 ・自由の中にも約束事やルールが存在することを、しっかり伝えたい。子どもたちと一緒に良いこと・悪いことについて考え、身につけられるようにしたい。
	決まりがあることの大切に気づき、自ら判断して行動できるよう配慮していますか。	b	
	感じたことや想像したことなどを表現できるよう、様々な環境の設定に留意していますか。	b	
	保育が小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに留意していますか。	a	

保育の計画及び評価	園の保育課程を理解していますか。	b	<ul style="list-style-type: none"> ・日々を過ごすことに一生懸命になってしまい、振り返る機会が少なかった。子どもを理解し、振り返り、未来に繋げる保育をしようと思う。 ・子どもを理解していないと「ねらい」が立てられないと実感している。計画通りに行かないこともあるが「理解」することを大切に、ゆったり関わっていききたい。 ・個人記録の「ねらい」をたてる際に、一人で決めていた。子どもを多角的に捉え「ねらい」を決められるように、クラスの先生と、何気ない出来事でも子どもについて共有しようと思う。 ・SOAP を行い、非常勤職員も計画過程・評価など知り、チームとして様々なことを共有して保育したい。
	指導計画を作成する際、長期的な指導計画と短期的な指導計画を作成していますか。	a	
	一人ひとりの子どもの状態を踏まえ、個別的に作成していますか。 (0~2 歳児)	b	
	指導計画に子どもの発達過程などを見通した具体的な「ねらい」と「内容」を設定していますか。	a	
	子どもの発達、興味、関心に基づいて指導計画を見直し、次の指導計画の作	a	
	障がいがある子どもがいる場合、その子どもの特性に合わせた個別支援のための計画を立てていますか。	b	
	自身の保育を振り返り、反省や評価を行い、次の指導計画の作成に活かしていますか。	b	
健康及び安全	子どもの日々の健康状態を把握し、一人ひとりの保育に活かしていますか。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・保育室や手洗い場、トイレなど清潔に保つよう心掛けているが、細かい所に目が届かない。一人ひとりが意識することで、清潔は保たれる。保育としての環境だけでなく、生活するという目線での清潔な環境を、常に保てるようにしたい。清潔な環境で、健やかな子どもは育つと思う。 ・毎月の訓練を通して、対応策など考えている。実際に災害が起きたときに対応できるか不安はあるが、毎月の訓練を大事にしたい。 ・毎月の訓練に慣れ過ぎないように、いろいろな場面を想定して行いたい。 ・園外保育の際に、子どもたちと決まりごとの確認をしてから出掛けることで、
	感染症に対する知識を持ち、その症状や流行時期などを把握していますか。	b	
	午睡中、子どもの顔色や呼吸の状態をきめ細かく観察していますか。	b	
	保育に従事する者として、服装や身支度に配慮し、自らの健康と清潔を常に心がけていますか。	a	
	保育室、トイレなどを清掃し、常に清潔を保つようにしていますか。	b	
	子どもが使用する玩具などを消毒し、常に清潔を保つようにしていますか。	a	

健康及び安全	おむつの交換や嘔吐物などの処理の際、手洗いや使い捨て手袋などの使用など衛生に配慮していますか。	a	<p>自分たちで意識して行動する姿があった。よく行く散歩先であっても、安全を確認し様々な体験・経験ができるような機会にしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・叱ったり、無理矢理食べさせたりなどはしないが、味を知ってほしくてしつこくなってしまうことがあったので気をつけたい。 ・強制したり、叱ったりしないが、全く食べてくれないと、これでいいのかと迷ってしまう。 ・給食時の子どもの様子を調理する側として、保護者に伝えるようにしたい。
	園内の整備、玩具、用具など定期的を確認し、破損の有無を確認しています	b	
	日常的に利用する散歩経路や公園などの異常や危険などを定期的に点検していますか。	b	
	災害が発生した場合の対応方法を理解していますか。	b	
	食事が保育の内容の一環であり、食育として位置づけられていることを理解していますか。	a	
	子どもが落ち着いて食事やおやつを楽しめるよう配慮していますか。	a	
	子どもが残さず食べることを強制したり、偏食を直そうと叱ったりしないよう配慮していますか。	a	
	食事の食べ具合など、必要に応じて保護者に伝えていきますか。	a	
保護者支援	送迎の際の会話や連絡帳を通して、保育の内容や子どもの様子などを保護者に伝えていきますか。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・悩みを伝えてくれる保護者とは、情報や子どもの様子を共有できた。行き届かない家庭があったと思う。積極的に声を掛け関係を築きたい。 ・連絡帳の書き方など言葉の使い方に気をつけたが、反省することも多かった。 ・teams を活用するようになり、子どもの様子を伝えやすくなった。
	保護者が子育ての悩みなどを安心して話せる存在となれるよう努めていますか。	b	
	保護者の子どもに対する虐待の早期発見に努めていますか。	b	
	自身の人間性や倫理観が子どもに影響を与えることを自覚していますか。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策の研修を受講したり、嘔吐処理の勉強会を開催したり、周知することはできた。しかし、職員がどの程度理解し

職員の資質向上	園内外における研修に目的を持って積極的に参加していますか。	a	行動しているか評価はできなかった。次年度意識して園全体で取り組むようにしたい。(看護師)
	自己評価などで課題を見つけ、その課題の解決に取り組んでいますか。	b	

○各クラスの振り返り

ひよこ組	<ul style="list-style-type: none"> ・時間を作ることは簡単ではなかったが、日々職員間でその都度話ができ、遠慮せずにいろいろな話し合いができた。 ・他のクラスに手伝いに行ったり、未満児全体の子どもを自然な感じで見合ったりすることが出来た。横のつながりが深まったことを実感した。 ・非常勤だからと遠慮する気持ちがあったが、今年度は気軽に話し合いもでき、立場関係なく職員としての意識をもって、保育に取り組むことが出来た。 ・大変な時もみんなで声を掛けあい分担したり、補い合ったりでき、気持ちに余裕がもてた。結果として、子どもたちにもゆったりと丁寧に関わることが出来た。 ・月齢差が大きく、生活リズムや活動などに違いがあったため、その時々の様子に合わせて分かれて活動するなどし、個々に合わせた対応ができた。 <p><看護師より></p> <ul style="list-style-type: none"> ・限られた勤務時間内ではあるが、担当しているひよこ組をはじめ、園児の体調不良時やケガなど保育教諭から相談を受けながら、対応することができた。緊急を要する事態はなかったが、アレルギーや熱性痙攣の既往がある児がいたり、乳幼児はいつ何があるかわからなかったりするので、いつでも対応できるよう幼児安全法講習を受け、「赤十字幼児安全法支援員」を取得した。常時勤務しているわけではないからこそ、持っている知識などを保育教諭に伝えていきたいと感じた。 ・保健衛生の面では、感染症対策の研修を受けたり、嘔吐処理の研修を看護師としての目線で場面を想定したりしながら実施した。どの程度、園内で周知できたかが評価できていないことが課題である。場面を想定しながら行ったことで、実施者が考えながら嘔吐処理をしている様子が見られ、研修は有意義なものであった。来年度は、保育教諭の意見を聞きながら、更に意味のある研修に繋げていきたい。 ・普段から保護者と関わる機会が少なかったと感じていたが、年に3回保健だよりを通して情報は発信することができた。teams が活用できるようになり、気軽に相談できたり、伝達ができたりするようになったので、来年度は teams を活用しながら必要時、園児の様子を伝え、看護師が身近な存在であることを感じてもらえればと思う。
------	---

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">つゆぎ組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・月齢で成長の差があるクラスであり、その子に合った関わりができるように、職員間で常に話し合いながら保育を進めた。 ・子ども主体の保育をするにはどうしたら良いのかを職員間で話をしながら、部屋の配置や一日の流れ、言葉の掛け方など変化させた。初めは職員も戸惑ったり、子どもも落ち着かない様子があったりしたが、少しずつ子どもの様子が変わってきて、落ち着いて楽しく過ごせるようになった。 ・天気の良い日には、戸外に出るようにした。散歩にもたくさん行き、友だちと手をつないで歩くことが上手になった。少しずつ距離をのぼし、幼児クラスが行くような場所に行けるようになった。 ・トイレトレーニングは本格的には行わなかったが、おむつ交換の際など、それぞれのタイミングでトイレに行った。半数程度がトイレでおしっこができるようになったが、行きたがらない子もいたので無理強いしないようにした。 ・言葉が出るようになり、友だち同士の関わりが増えてきた。トラブルもあるが、見守れる部分は見守りながら、関わるようにした。また、言葉を習得する時期なので、ゆっくり話すなど職員の言葉の使い方にも配慮した。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">りす組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの気持ちに寄り添い、信頼関係を築けるように努めた。日々子どもたちに温かく接することで安心し、自分を出せるようになり、笑顔で過ごす姿が増えた。自己主張が強い子もいたが、職員間で協力しながら、ゆったりとした気持ちで受け止めるようにした。 ・自分でやってみようとする姿を大切に、必要最低限の援助を心掛けた。個人差はあったが、様々なことでやり方を丁寧に知らせることで、楽しみながら取り組む姿がみられた。出来た姿を十分に褒めたり、一緒に喜んだりすることで、自信や意欲につなげることができた。 ・十分に活動を楽しめるように、遊ぶ時間を多くもつようにした。何をして遊ぶか、散歩にはどこに出かけるかなど、子どもたちと話し合って決めることで、見通しをもって身支度など意欲的に行っていた。簡単な集団遊びも取り入れ、友だちと一緒に遊ぶ楽しさも味わえるように働きかけた。一方で、遊びや活動がマンネリ化してしまったので、もっと工夫するの必要を感じている。 ・玩具の貸し借りや思いのすれ違いによるトラブルが多かった。思いを言葉で伝えることが難しく、手が出てしまうこともあったが、双方の思いを聞き、場面に合った言葉を知らせる、相手の思いに気づけるような言葉かけをすることで、少しずつ相手の気持ちを考えようとする姿が見られるようになった。 ・トイレトレーニングや箸への移行は個人差が見られたが、各家庭と情報交換しながら、成長に合わせて無理なく進めることが出来た。友だちの頑張っている姿が刺激となり、トイレに行ってみようとする子が増えるなど、意欲的に取り組んでいた。成功した時にはクラス全体で喜び、成功体験につなげた。移行途中の子が多いので引継ぎをしっかりと行い、子どもたちが幼児クラスになっても戸惑わないように配慮した。 ・安心して進級できるように、基本的な生活習慣を見直し、幼児クラスに合わせた環境作りに努めた。子どもたちも進級を楽しみにし、身の回りのことに意欲的に取り組んだ。丁寧で温かな関わりを心掛け、自信や進級の喜びに繋がられるようにした。

<p>ぴんくグループ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度と同様の職員で新年度がスタートし、お互いを理解し、得意なところ、挑戦してみるところなど、職員それぞれが保育に真剣に向き合い過ごすことが出来た。 ・子どもの「やりたい」「やってみたい」という思いを大切にしようと心掛けた。遊ぶ時は思い切り遊び、その中での発見を大切にしたり、喜びを感じながら満足して生活できたりするように活動内容を工夫した。生活面でも、やるときはやる、しっかり話を聞く、生活に必要なルールを守るなど、繰り返し知らせ、子どもたち自身が考えて行動できるように働きかけた。 ・子どもたちと一緒に活動内容を考え進めたことで、様々な行事や遊びに積極的に、前向きに取り組んでいた。しかし、並ぶ、順番を待つなどの意識が低く、これからの生活でも必要なことなので、しっかり身につけられるように取り組めたらよかった。なんでもいい保育ではなく、学びも大事だと感じた一年なので、今後の保育に生かしたい。 ・11月から年長児での生活に移行した。年下の子との関わりではうまくいっていたことも、同年齢ではうまくいかない、様々な関わりでトラブルになってしまうということが増え、子どもたち自身が戸惑い、悲しむ姿が見られた。しかし、自分の思いの伝え方や友だちの気持ちに気づくことなど、同年齢だからこそ感じ、知ることが出来た経験だと思う。就学に向けてひとつひとつのことを、クラスみんなで話し合う機会を作り、一緒に考えるようにしたことで、日々身体も心も成長する姿を間近で見ることが出来た。 ・コロナで行えなかった行事を再開でき、新たにお泊まり保育や園外保育を取り入れたことで、様々な経験ができ、園生活で大きく成長する姿が見られた。 ・異年齢で生活し、同年齢での活動も十分に取り入れたことで、多くの保育教諭との関係を築くことが出来た。半面、年長児は、行事や就学に向けての取り組みがあるので、年間を通して同年齢で過ごしてもよいのではないかと感じた。その年に合った保育を進めていけること、考えていけることが、この保育園の良さであると感じている。
<p>ぐりんグループ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度のメンバーがほとんどそのままのクラス編成であったため、落ち着いてスタートすることが出来た。ロッカーの配置や動線、環境設定など、子どもたちの興味や様子に応じて話し合いながら対応した。一人ひとりの成長についても話し合い、個々に応じた関わりを行った。 ・朝や帰りの話し合いの中で、散歩先ややりたいこと、思ったことや感じた事を伝えたり、他児の話聞いて受け入れたりできるようにした。様々な子が思いを伝えようとする姿が増え、遊びが発展し「こんなことをしたい」と発信し、さらに遊び盛り上がり、友だち同士の関わりも増えた。子どもたちのやってみたいことをすぐに行ったり、保育教諭も一緒に考え、やってどうだったのか振り返ったりすることもした。「またやりたい!」という時と、満足しその後につながらないこともあったので、今年度の経験を今後の保育につなげていきたい。 ・身の回りのことや所持品の管理、みんなで使うものを大切に使うことも知らせてきた。身の回りのことは、保育教諭に手伝ってもらいながら出来ることが増え、自分でやろうとする意欲につながった。共同の物を使う際に雑に扱うことが多く、その都度知らせている。大切に使うという意識を育てる難しさを感じている。 ・今年度の保育の中でやってよかったことや改善点など、様々な思いがあるので来年度の保育につながるように考えていきたい。

ぶるーグループ	<ul style="list-style-type: none"> ・特性のある子が多く、集団での活動がうまく流れないことがあった。一人ひとりに寄り添い思いを受け止めたり、スキンシップをはかったりしながら、信頼関係を築けるように心掛けた。また、職員間で声を掛け合いながら、誰かが見守ったり、関わったりできるように配慮した。 ・子どもたちのちょっとした姿や保護者との会話なども、職員間であえて話し合いの場を設けなくても、普段の保育の中で伝えあいながら情報共有することができた。
---------	--

給食室	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、箸の指導、行事食や Instagram の開設など、新たに試みたことがあったが、反省点などを話し合い、今後もより良く続けていきたい。 <p>〈アレルギー除去食〉</p> <p>アレルギー児に対し誤食がないように、献立のチェックを家庭・保育教諭・給食室で情報共有しながら行っている。栄養士や給食職員が不在になる、土曜日の午後は更に確認を強化しているが、間違いのないように気を引き締めて取り組みたい。</p> <p>〈食育〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、未満児クラスもクッキングを行い、食材に触れる機会も多くもてた。幼児クラスのクッキングについては、いつも行事に追われていたので、行事に合わせたり、担任と事前の打ち合わせを密にしたりして、計画的に行いたい。 <p>〈行事食〉</p> <p>日本の伝統的な献立を大事にしながら、子どもたちが食べることを楽しみにしてくれる給食作りを目指してきた。お正月メニューの残食が毎年多いので、内容を検討し、残食を減らしたい。また、掲示をするだけでなく、子どもたちに行事食についても伝えていきたい。</p> <p>〈献立〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の料理を5回献立に組み込んだ。子どもたちにその国の説明をしたが、幼児クラスに向けて説明するのは難しいと感じた。興味をもってもらえるように絵を使用したり、給食の展示と一緒に掲示したり、保護者にも分かりやすく伝えるようにしたい。 ・新しいメニューを増やしたり、園行事や気温の変化に柔軟に対応したり、給食室としてできることを考えていきたい。
-----	--

○今後の課題と目標

<ul style="list-style-type: none"> ・ teams の活用により、保育の様子を家庭に伝えやすくなった。職員間でも、子どもの様子を共有しやすくなり、クラスの垣根を越え、全園児を見守りやすくなった。保護者からも「チャット」を利用して家庭の様子を伝えてもらえるよう知らせていきたい。 ・ 職員間でコミュニケーションをとり、子どもへの関わり方、援助の仕方について話し合い、気持ちの共有をしながら保育に取り組みたい。 ・ アイデアを出し合い、子どもが自主的に遊べるようなコーナー作り、環境設定を工夫したい。子どもの声を聞きながら、遊びを発展できるように一緒に楽しみたい。 ・ 生活する中で身につけてほしいことを、子どもたちと一緒に考えたい。自由の中にも約束事やルールが存在することをしっかり伝え、良いこと悪いことを自分で判断できるような関わりを心掛けたい。
--

- ・ SOAP を保育に取り入れ、これまで以上に子ども一人ひとりをしっかり観察し関わり、「理解」することを大切にしたい。また、保育を振り返り、未来につながる保育を意識したい。
- ・ 生活する場の清潔が保たれるように、一人ひとりが細かい所に目を配るようにしたい。保育としての環境だけでなく、生活するという目線での清潔な環境を、常に保てるようにしたい。清潔な環境の中で、健やかな子どもを育てていきたい。